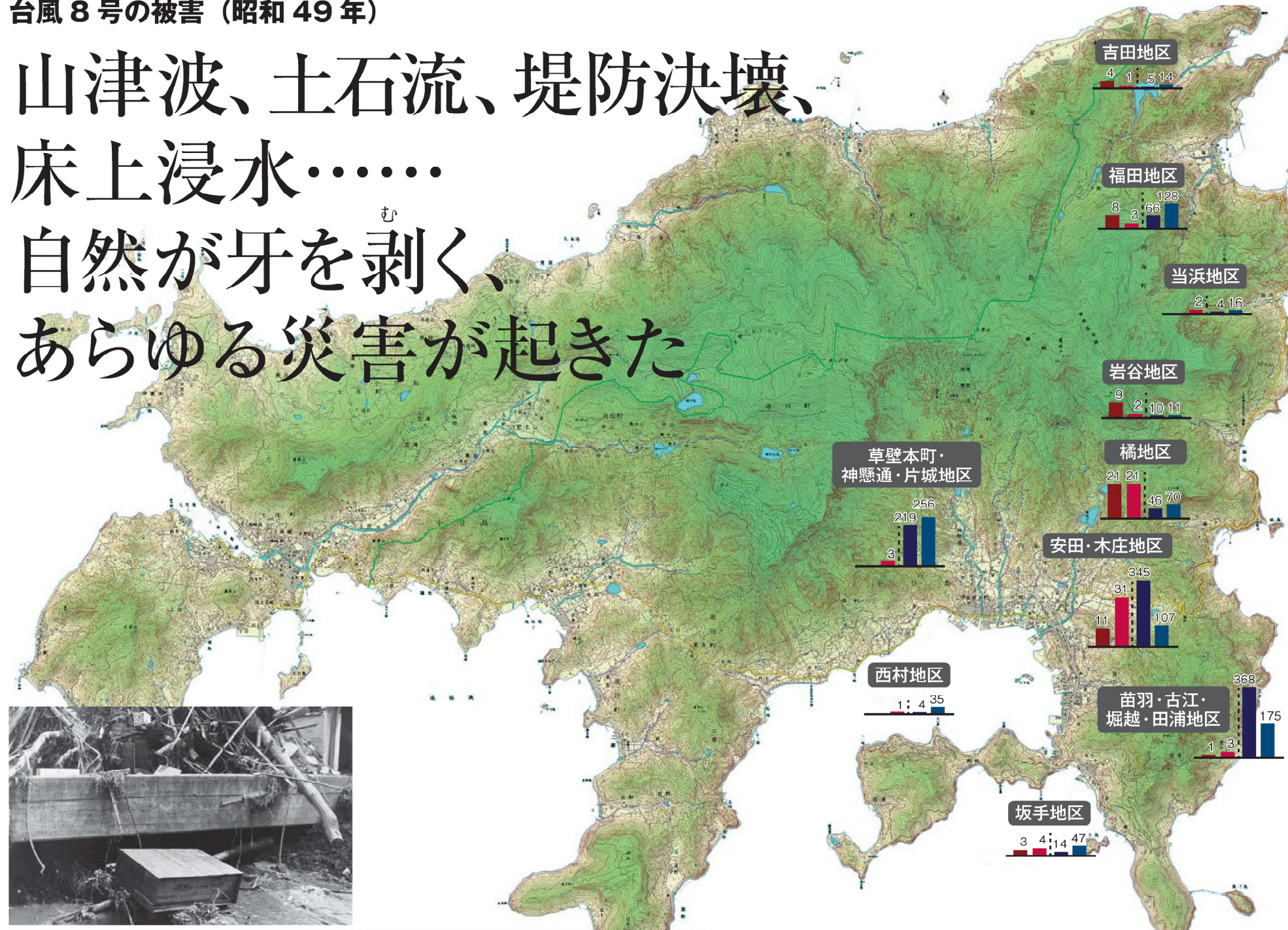


台風 8 号の被害 (昭和 49 年)

# 山津波、土石流、堤防決壊、 床上浸水…… 自然が牙を剥く、 あらゆる災害が起きた



**吉田地区**  
水田は、一夜のうちに土砂で覆われ、河原のようになってしまった。



**福田地区**  
伊豆川が氾濫し、民家の軒先まで土砂が押し寄せた。伊豆川と近谷川の合流点より上流のようす。

〔凡例〕  
 建物全壊 11  
 建物半壊 31  
 床上浸水 345  
 床下浸水 107  
 グラフについては、建物全壊・半壊 (左) 床上・床下浸水 (右) の被害軒数をあらわす。※人的被害は除く



**安田地区**  
安田大川は堤防が決壊し、ずたずたになった。川は大量の土砂で埋まり、倒壊した家の棟木や、根の付いたままの流木などが橋を塞ぎ、濁流が街なかへと氾濫した。また、諸口川 5 号橋は、破壊されて落ちた。



**橘地区**  
橘地区は 3 か所で山津波が発生し、19 人の犠牲者が出た。



**岩谷地区**  
裏山からの土石流により、民家は跡形もなく押し流された。(椎木川付近)

# 台風 17 号の被害 (昭和 51 年)



**池田地区**  
土石流により、信谷付近では田畑がすっかり埋まってしまった。



**二面地区 (石場)**  
10トンもある大きな石が落ちてきて、まるで石の洪水のようになった。



**蒲野地区 (谷尻)**  
死者 24 人、重傷者 4 人、軽傷者 3 人、全壊家屋 20 戸、半壊家屋 2 戸と、谷尻地区の被害は最も大きかった。



**室生地区 (赤坂)**  
死者 4 人、重傷者 1 人、軽傷者 7 人、全壊家屋 10 戸、半壊家屋 2 戸などの被害が出た。



〔凡例〕  
 土砂崩れ  
 水害  
 地図上の茶色は土砂崩れの範囲を、水色は水害をあらわす。



**福田地区**  
49年に続き、再び土石流に襲われた福田・吉田地区では全壊家屋 19 戸、半壊家屋 7 戸、死者 1 人、重傷者 3 人という大きな被害となった。



**当浜地区**  
全壊家屋 6 戸、半壊家屋 7 戸、軽傷者 2 人の被害が出た。



**神懸通地区**  
山崩れ、土石流などが発生し、地区全体では重軽傷者 10 人、全壊 4 戸、半壊 22 戸、床上床下浸水 254 戸を記録した。



**西村地区 (清水)**  
全壊家屋 54 戸、半壊家屋 28 戸、床上浸水 84 戸となった。



**西村地区 (竹生)**  
谷という谷から土石流が起こった竹生は、広範囲に被害を受けた。西村地区は、6 人が亡くなり、重傷者も 8 人を出すなど大きな被害となった。

出典：「小豆島 災害の記憶」(平成26年11月19日)香川県小豆島町